



世田谷文学館友の会

お知らせ 第135号

平成29年12月19日
世田谷文学館友の会
〒157-0062
世田谷区南烏山1-10-10
TEL 03-5374-9111
FAX 03-5374-9120

新春散歩 お江戸両国、小粋に歩く ～すみだが誇る世界の絵師、葛飾北斎の生まれをたどる～

「富嶽三十六景」を描いた希代の絵師、葛飾北斎は宝暦10（1760）年、本所割下水^{ほんじよわりげすい}界隈で生まれました。昨年（2016年11月22日）元陸奥弘前藩津軽家上屋敷跡地に開館した「すみだ北斎美術館」は「開館一周年記念 めでたい北斎～まるっとまるごと福づくし～」の記念展を開催中（1月21日迄）です。折しも上野の国立西洋美術館でも「北斎とジャポニスム—HOKUSAI が西洋に与えた衝撃」を開催中（1月28日迄）。また両国国技館では大相撲一月場所（1月14日～28日）で大いに賑わうことでしょう。北斎の生きたお江戸両国の新春にタイムスリップして、小粋に歩いてみませんか！

日 時 : 平成30年1月17日（水）午前9時50分集合（小雨天決行）

集合場所 : JR中央・総武線「両国駅」西口（国技館側）改札口前（会旗あり）
集合次第、駅脇の両国観光案内所内へ移動します。

コース : **午前**は、国技館通り界隈、両国橋を歩きます。

両国観光案内所を出発→国技館前[北斎案内板4]→旧安田庭園[北斎案内板3]（北斎「馬^ま尻^し駒止石」に描かれた石がある）→国技館通り→回向院（北斎は境内で巨大な絵を描く大パフォーマンスを何度も行なった）→旧両国橋広小路[北斎案内板5]（北斎「絵本隅田川兩岸一覽 両国納涼一の橋弁天」、両国橋たもとでトイレ休憩→春日野部屋→馬車道通り→井筒部屋前→本所松坂町公園・吉良邸跡[北斎案内板6]（北斎「新板浮絵忠臣蔵第十一段目」）→時津風部屋前→両国小学校・芥川龍之介母校→両国観光案内所に戻る。

昼食（11時半～12時半）両国観光案内所（両国江戸NOREN）2階「築地食堂 源ちゃん」で昼食（真鯛胡麻まぶし丼定食）。

午後は、北斎通りを歩き、「すみだ北斎美術館」へ。

JR両国駅国技館側と反対の北斎通りを進むと右沿いに開けた一角が現れる。「本所に過ぎたるものが二つあり、津軽屋敷に炭屋塩原」といわれるほど広い敷地だった津軽家の上屋敷跡地である。敷地の公園に入ると「すみだ北斎美術館」へと誘導される。入館後は美術館で解散とし、自由にご観覧ください。

（午後2時半解散予定、歩行約4km）

案内人 : 一般社団法人墨田区観光協会ガイド 数名

参加費 : 2500円（入館料、イヤホンガイド料、昼食代含む）

募集人数 : 30名（応募多数の場合は抽選）

申込締切日 : 平成30年1月10日（水）必着

~~~~~

**俳句鑑賞会** 平成30年1月30日（火） 2月12日（月・休） 3月27日（火）、午前10時半～正午  
文学館2階講義室 参加費 200円 秀句一句とご自作があれば一句お持ちください。

\*次のお知らせ136号は、2月上旬ごろ発行の予定です。

（裏面に続く）

## 講座 浦島太郎伝説

講師 平出 洸

日本にはカチカチ山、猿蟹合戦、舌切り雀、一寸法師、あるいは花咲翁さんといった昔話や伝説が沢山ありますが、中でも浦島太郎は誰もが慣れ親しんだ、最も著名な説話の一つです。そのルーツは古く、日本書紀・万葉集・丹後国風土記にまで溯ります。しかしその内容は、現在我々が知っているものとはかなり異なった物語で、しかも時代を経るに従って次第に変貌していったのでした。例えば亀の位置付けなどは大きく変化していきます。

今回の講座では童謡や朗読をお楽しみ頂きながら、古典から現代に至る浦島の物語の変遷を探りつつ、改めてこの伝説をじっくり味わってみたいと思います。

暫し童心に返って、一緒に楽しい一時を過ごしましょう。

(講師メッセージ)

講師：平出 洸氏 (世田谷文学館友の会会長)

朗読 森 ゆり子氏 (徑こみちの会、友の会会員) 巖谷 小波いわや さざなみ「浦島太郎」の抜き読み

日時：平成30年2月6日(火) 午後2時～4時

会場：世田谷文学館 2階 講義室

参加費：会員800円、会員以外1000円

申込締切日：平成30年1月23日(火) 必着 (応募者多数の場合は抽選)

### 【文学館からのお知らせ】

#### 次回企画展「ミロコマチコ いきものたちの音がきこえる」

2018年1月20日(土)～4月8日(日)まで開催。

絵本作家であるミロコマチコは2012年、『オオカミがとぶひ』で日本絵本大賞を受賞し華々しくデビュー。その類いまれな色彩感覚と独自の造形表現、豊かな言語感覚は世界的にも高く評価されています。画家として、絵本作家として、日々創作活動を続ける彼女の今を切り取った、ダイナミックな、ライブ感あふれる展示をお楽しみください。(チラシ同封)



**お知らせ** 都内有数の梅林がある世田谷区梅ヶ丘・羽根木公園で、梅の見頃時期にあわせて毎年行われている「せたがや梅まつり」が2018年2月10日～3月4日まで開催されます。せたがや文化財団は2月10日(土) 10時～15時までテントブースを設営しますので、ボランティア可能な会員はご協力ください。

#### <講座・散歩の参加申込み方法>

「往復はがき」に下記の事項を記入してお申し込みください。

① 講座・散歩名 ②参加希望日 ③会員番号 (会員以外の方は「非会員」と明記) ④住所・氏名・電話番号 (散歩応募の場合は携帯番号) ⑤今後ご希望の講座・散歩など。

**連名申込み可(③と④を必ずご記入)**。参加費は当日お支払いください。

お一人が複数の講座・散歩をお申し込みの場合は、それぞれ別の往復はがきにてお申し込みください。

※参加を取り消される際には必ずご連絡ください。

宛先 〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10 世田谷文学館友の会

TEL 03-5374-9111

FAX 03-5374-9120